

文学散歩第二弾

大原富枝



がみた本山町を歩く

私の生まれたのも

四国山脈の中の村で、

私の自慢できるのは

たった一つ風景だけであった。

「ふるさとの川」より

2017年11月25日(土)

10:00~16:00

本山町大原富枝文学館・寺家周辺

主催：高知工業高等専門学校 共催：大原富枝の会

後援：本山町教育委員会、本山町観光協会、本山町立大原富枝文学館

助成：一般財団法人 高銀地域経済振興財団 協力：高知県立文学館

どなたさまもご参加いただけます(事前申し込みが必要です)。

申し込み先：高知工業高等専門学校総務課企画係 電話：088-864-5643 FAX：088-864-5618 E-Mail：kikaku@jm.kochi-ct.ac.jp



吉野の書齋にて、1936年頃

「書くとは生きるということ」を信条とした大原富枝の作品は、その故郷である本山のまちと強く共鳴しながら独自の文学世界を構築しています。

大原富枝の作中に描かれる山間の風景は、現在も本山のまちの中にひろがっており、その場に足を運ぶと小説の登場人物と共にそこで呼吸しているかのように感じられます。現実のまちから小説内の虚構の世界へとつながる扉が本山の日常には点在しています。大原富枝の小説を片手に、富枝が生まれ育ち、療養期間を経て上京までをすごした本山のまちをたどりながら、本山の魅力を再発見し、広く大原文学に触れる機会にしたいと思います。

～大原富枝と歩く文学散歩～

大原富枝が歩いた本山町の町、そして小説に描いた風景を巡ります。



集合場所：大原富枝文学館



林業で栄えていた往時を偲ばせる通りには、明治～昭和初期の建築が点在しています。



昭和初期に建てられた高知屋旅館。和風の本館に洋風のダンスホールが附属しており高知の文化人が通った。

高知屋旅館でお弁当を頂きます♪

お弁当には富枝さんが好んだ料理も入っています♪

♪チャムパンも好きだったとか...



療養生活をすごした場所から見える汗見川と小倉山。

「花まつり」に描かれる金剛寺。山野豊かな境内で休憩をとります



大正元年9月に生まれた富枝の生誕地と実家跡。



平成12年1月27日に亡くなった富枝のお墓。

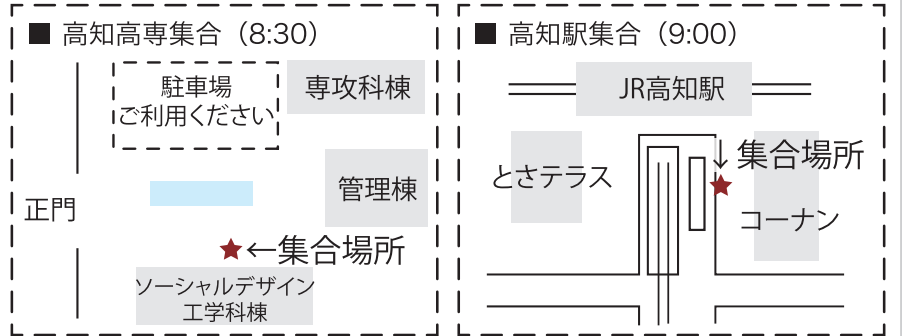
大原富枝文学館で解散です。高知駅・高専へお送りします。

【参加費】 参加費は無料です。昼食・お茶とお菓子・保険代等（計2000円程度）を現地でお支払いください。

【定員】 先着30名

【集合場所】 大原富枝文学館に10時集合。送迎バス（無料・高知高専8:30発、高知駅南口を9:00発）をご利用いただけます。

【行程】 全行程は約5キロです。歩きやすい靴と動きやすい服装でご参加ください。



■ 大原富枝文学館まで車でのお越しの方は、プラチナセンター駐車場をご利用下さい。

お申し込み

高知工業高等専門学校総務課企画係へ FAX もしくはお電話・E-Mail にてお申し込みください。

電話：088-864-5643 FAX：088-864-5618 E-Mail：kikaku@jm.kochi-ct.ac.jp

ふりがな

お名前

性別

年齢

ご住所

連絡先電話番号

バス乗車希望 高知高専 ・ 高知駅 ・ なし

(該当するものに○を記入してください。)